

令和5年度学校評価自己評価表

学校経営方針：小規模の良さを生かし、地域とともに、ねばり強く児童一人一人の可能性を最大限に伸ばす学校

学校教育目標：ふるさとを愛し、未来を拓くたくましい「本地っ子」の育成 ～本気で地道に～

北広島町立本地小学校

項目	中期 経営目標	短期 経営目標	目標達成のための方策	評価指標・目標値	学校自己評価					学校関係者評価	
					後期		達成度	評価	改善策	評価	コメント
					目標値	達成値					
健やかな体	自らを律し、生活力を高めるための体力・耐力を育成する	生活リズムを整え、心身を鍛え、失敗を恐れず、目標に向かって努力する態度を育てる	①望ましい生活リズムがもたらす効果を啓発し、保護者とともに生活振り返りカードの取組を行う。	①生活振り返りシートにおいて、各自が望ましいと設定した就寝時刻を6割以上守って生活できた児童の割合 80%以上	80%	78%	98%	3	・今後も定期的に生活習慣チェックや「ちよの日」の取組を行い、児童の意識づけを図る。 ・保健朝会・学級活動等において具体的に指導し、児童の意欲を高める。 ・保護者との連携を密にするとともに、全体への情報提供を進める。	B	・生活振り返りシートの取組は、児童自身で生活リズムを見直す良い機会になっている。時計を見ながら自発的に行動するきっかけになっている。 ・保護者との連携は難しいことも多いかと思うが、協力を呼びかけ、生活リズムが整った児童を育ててほしい。生活リズムが整っていないことは、学力低下にもつながると考えられる。
			②体育科や特別活動（行事）において個々に目標を設定させ、達成に向けて継続して努力できるよう態度を肯定的に評価したり、児童自身が技能や体力の向上を実感できるよう取り組んだりする。	②活動後、自分の取り組み方や体力・技能の向上について、肯定的に自己評価する児童の割合 90%以上	90%	91%	101%	4	・今後も、個々に応じた目標を設定できるように、事前に指導したり、目標掲示して見える化したりする取組を継続する。 ・小刻みな評価の充実を図る。 ・理論研修や情報提供を積極的に行い、体育科の授業改善を進める。	A	・目標を児童自らが決めることは、とても良い。今後も継続していただきたい。
豊かな心	命を大切に、自他を認め合いながら磨き合う集団を育成する	命を大切にする安全教育を中心とし、支え合い磨き合う集団をつくりあげる	①危機回避能力を高めるために、避難訓練を年に5回実施する。	①アンケート（児童）で「危険が迫った時、避難する方法を理解している児童」の割合 95%以上	95%	96%	101%	4	・予告なしの避難訓練や、PTAと協働しての土砂災害時の保護者への引き渡し訓練など、より実践的な訓練ができたので、来年度も継続する。 ・理解を深めるために振り返りを書かせる機会を設ける。	A	・継続することによって定着すると思うので、年5回の実施頻度は良い。
			②学級活動や学校行事の充実を図る。 ・学校行事カードを活用した自己の振り返りの継続 ・学級活動での話し合い活動を充実させるための職員研修の実施や手引きの活用	②アンケート（児童・教職員）で「みんなが伸びるために考えたり、話し合ったりしている児童」の割合 90%以上	90%	85%	94%	3	・学校行事カードを活用してお互いの振り返りを知る機会を充実させる。 ・全教職員が意識を統一して取り組むために、学級会での話し合い活動の研究授業を行う。	A	・自分の考えを発表する経験はとても貴重であるので、引き続き取り組みを行っていただきたい。
確かな学力	基礎・基本の定着を図ると共に、思考力・判断力・表現力、学びに向かう態度を高める	学習習慣の定着を図り、基礎学力の定着・熟考・豊かに表現する学びを創る	①算数科を中心とした予習学習 ・予習で自分の考えをまとめる。 ・授業の中で適応問題に取り組む時間を十分に確保する。 ・学習の理解度を振り返るループリック表を活用する。	①算数科の単元末テスト80点以上を超える児童の割合（学期ごと） 70%以上	70%	56%	80%	2	・木曜日の放課後の学力補充・やり切らせる指導の徹底、金曜日の朝の計算タイムを設ける方策を続ける。 ・予習学習の充実に加え、複式学級を見越した児童主体の授業づくりの推進を図る。 ・学力テストの結果分析を踏まえた授業改善を行う。	B	・基本的な学力をしっかりとつけていただきたい。 ・個々に得意不得意があると思うので、苦手な教科も伸ばしていくことができるような方策も考えられるとよい。 ・家庭との連携も必要だが、児童クラブとの連携も大切にしていきたい。
			①算数科のCRTが全国比100を超える児童の割合 65%以上	①算数科のCRTが全国比100を超える児童の割合 65%以上	65%	42%	65%	1			
			②伝え合う活動の充実 ・全員が授業の中で必ず発言する場を設定する。 ・様々な教育活動の中で、伝え合う場を設定する。	②児童アンケート、教師の見取りで次のように回答する割合 90%以上 ・授業の中で、自分の考えをもっている。 ・自分の考えを書いたり話したりして表現することができる。 ・授業の中で、友だちと意見を出し合っているうちに、考えが深まったり、新しいことに気付いたりする。	90%	91%	101%	4	・様々な場面で自分の思いを書く機会を設け、論理的に表現する力を高める。 ・予習し、自分の考えをもった上で意見交流させ、練り合いの場面を充実させる。 ・話し方・聞き方のモデルを示し、スキルを高める。	B	・目標を達成する児童がたくさんいるので素晴らしい。先生方の声かけや進め方が効果的と考えられる。
信頼される学校	働き方改革を推進しながら、保護者・地域としっかりつながる学校づくりを行う。	働きがい高め、選択と集中により教育活動の質を高め、保護者・地域との信頼関係を高める	①教育活動の選択と集中により、働きがい高める。	①働きがいを感じる教職員の割合 90%以上	90%	96%	107%	4	・教育活動について職員同士で気軽に相談できており、仕事への誇りやプライドをもつことができている職員が多かった。今後も、教育活動の選択と集中を進めていく。	A	・先生の間でも自主学習会を開いたり、情報共有をされたりしているということなので、継続していただきたい。
			②地域・保護者と協働する『本地「夢」プログラム』の作成と情報発信	②保護者アンケート情報発信と特色ある学校づくりの項目での肯定的評価 85%以上	85%	79%	93%	3	・情報発信を継続し、保護者とのきめ細やかな連携を進め、信頼関係を深めていく。地域を教材にしたプログラムを整理し直し、計画的に学習を進めていく。	B	・保護者アンケートの中の「子どもは、将来北広島町に貢献したいと思っている」の項目が低いのが気がかりである。地域のことを学び、ふるさとを大切に思う気持ちを育むことは大切である。さらに充実していただきたい。

【学校自己評価 評価基準】 4…十分達成できた（達成度100以上） 3…おおむね達成できた（達成度90～99） 2…あまり達成できなかった（達成度80～89） 1…達成できなかった（達成度80未満）

【学校関係者評価 評価基準】 A…自己評価は大変妥当である B…自己評価は概ね妥当である C…自己評価はあまり妥当でない D…自己評価は妥当でない